NEC





NEC Expressサーバ Express5800シリーズ

N8100-995Y

Express5800/120GR-1b ユーザーズガイド

2004年 10月 初版

商標について

EXPRESSBUILDERとESMPRO、ExpressPicnic、CLUSTERPROは日本電気株式会社の登録商標です。DianaScopeは日本電気株式会社の商標です。Microsoft、Windows、Windows Server、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。Intel、Pentiumは米国Intel Corporationの登録商標です。Xeonは米国Intel Corporationの商標です。DatalightはDatalight、Inc.の商標です。ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。ROM-DOSはDatalight、Inc.の登録商標です。Adaptecとそのロゴは米国Adaptec、Inc.の登録商標です。SCSI Selectは米国Adaptec、Inc.の商標です。LSI-Logic Corporationの登録商標または商標です。Adobe、Adobeのコ、Acrobatは、Adobe Systems Incorporated(アドビシステムズ社)の商標です。DLTとDLTtapeは米国Quantum Corporationの商標です。その他、記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2003はMicrosoft® Windows ServerTM 2003 Standard Edition operating systemおよび Microsoft® Windows ServerTM 2003 Enterprise Edition operating systemの略です。Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemおよび Microsoft Windows XP Professional operating systemの略です。Windows 2000は Microsoft® Windows® 2000 Server operating systemがはでいるのでは、Windows® 2000 Advanced Server operating system、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 3.51/4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation operating system version 3.51/4.0の略称です。Windows MeはMicrosoft® Windows ® Millennium Edition operating systemの略称です。Windows 98は Microsoft® Windows® operating systemの略称です。Windows 98は Microsoft® Windows® Operating systemの略称です。Windows 98は Microsoft® Windows® Operating systemの略称です。Windows® Operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) 弊社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4) 項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

このユーザーズガイドは、必要なときすぐに参照できるよう、お手元に置いておく ようにしてください。「使用上のご注意」を必ずお読みください。

⚠ 使用上のご注意 (必ずお読みください)

本製品を安全に正しくご使用になるために必要な情報が記載されています。

安全にかかわる表示について

Express5800シリーズを安全にお使いいただくために、このユーザーズガイドの指示に従って操作 してください。

このユーザーズガイドには装置のどこが危険でどのような危険に遭うおそれがあるか、どうすれば危 険を避けられるかなどについて説明されています。また、装置内で危険が想定される箇所またはその 付近には警告ラベルが貼り付けられています(本体に印刷されている場合もあります)。

ユーザーズガイド、および警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として、「警告」と「注意」とい う用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。



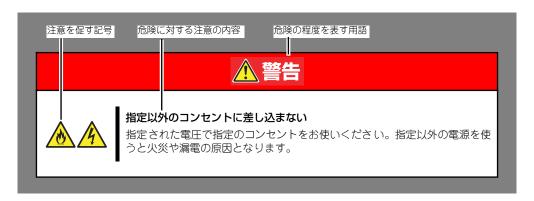
人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。

火傷やけがなどを負うおそれや物的損害を負うおそれがあることを示しま

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意 味を持つものとして定義されています。

	注意の喚起	この記号は危険が発生するおそれが あることを表します。記号の中の絵表 示は危険の内容を図案化したもので す。	(例) (感電注意)
\Diamond	行為の禁止	この記号は行為の禁止を表します。記号の中や近くの絵表示は、してはならない行為の内容を図案化したものです。	(例) (感電注意)
	行為の強制	この記号は行為の強制を表します。記号の中の絵表示は、しなければならない行為の内容を図案化したものです。 危険を避けるためにはこの行為が必要です。	(例) (感電注意)

(ユーザーズガイドでの表示例)



本書と警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

A	感電のおそれのあることを示します。	<u> </u>	発煙または発火のおそれがあるこ とを示します。
	指がはさまれてけがをするおそれ があることを示します。		けがをするおそれがあることを示 します。
	高温による傷害を負うおそれがあ ることを示します。	<u>^</u>	特定しない一般的な注意·警告を示します。
	爆発や破裂による傷害を負うおそ れがあることを示します。		

行為の禁止

\bigcirc	特定しない一般的な禁止を示します。	本装置を分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。
(B)	火気に近づけないでください。発火 するおそれがあります。	ぬれた手で触らないでください。感 電するおそれがあります。
	指定された場所には触らないでく ださい。感電や火傷などの傷害のお それがあります。	水や液体がかかる場所で使用しないでください。水にぬらすと感電や 発火のおそれがあります。

行為の強制



安全上のご注意

本装置を安全にお使いいただくために、ここで説明する注意事項をよく読んでご理解し、安全にご活 用ください。記号の説明についてはiiiページの『安全にかかわる表示について』の説明を参照してく ださい。

全般的な注意事項

▲ 警告

人命に関わる業務や高度な信頼性を必要とする業務には使用しない



本装置は、医療機器・原子力設備や機器、航空宇宙機器・輸送設備や機器など、人命 に関わる設備や機器および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込み やこれらの機器の制御などを目的とした使用は意図されておりません。これら設備や 機器、制御システムなどに本装置を使用した結果、人身事故、財産損害などが生じて も弊社はいかなる責任も負いかねます。



煙や異臭、異音がしたまま使用しない

万一、煙、異臭、異音などが生じた場合は、ただちに電源を OFF にして電源プラグ をコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または保守サービス 会社にご連絡ください。そのまま使用すると火災の原因となります。



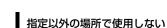
針金や金属片を差し込まない

通気孔やフロッピーディスクドライブ、CD-ROM ドライブのすきまから金属片や針 金などの異物を差し込まないでください。感電の危険があります。



規格以外のラックで使用しない

本装置は EIA 規格に適合した 19 型 (インチ) ラックにも取り付けて使用できます。 EIA 規格に適合していないラックに取り付けて使用しないでください。 本装置が正常 に動作しなくなるばかりか、けがや周囲の破損の原因となることがあります。本装置 で使用できるラックについては保守サービス会社にお問い合わせください。





本装置を取り付けるラックを設置環境に適していない場所には設置しないでくださ

本装置やラックに取り付けているその他のシステムに悪影響をおよぼすばかりでな く、火災やラックの転倒によるけがなどをするおそれがあります。設置場所に関する 詳細な説明や耐震工事についてはラックに添付の説明書を読むか保守サービス会社 にお問い合わせください。

<u></u> 注意



海外で使用しない

本装置は、日本国内専用の装置です。海外では使用できません。この装置を海外で使用すると火災や感電の原因となります。



装置内に水や異物を入れない

装置内に水などの液体、ピンやクリップなどの異物を入れないでください。火災や感電、故障の原因となります。もし入ってしまったときは、すぐ電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いてください。分解しないで販売店または保守サービス会社にご連絡ください。

ラックの設置・取扱いに関する注意事項

/ 注意



1人で搬送・設置をしない

ラックの搬送・設置は2人以上で行ってください。ラックが倒れてけがや周囲の破損 の原因となります。特に高さのある ラック(44U ラックなど)はスタビライザなど によって固定されていないときは不安定な状態にあります。かならず2人以上でラッ クを支えながら搬送・設置をしてください。



荷重が集中してしまうような設置はしない

ラック、および取り付けたデバイスの重量が一点に集中しないようスタビライザを取 り付けるか、複数台のラックを連結して荷重を分散してください。ラックが倒れてけ がをするおそれがあります。



1人で部品の取り付けをしない

ラック用のドアやトレーなどの部品は2人以上で取り付けてください。部品を落とし て破損させるばかりでなく、けがをするおそれがあります。



ラックが不安定な状態でデバイスをラックから引き出さない

ラックから装置を引き出す際は、必ずラックを安定させた状態(スタビライザの設置 や耐震工事など)で引き出してください。



複数台のデバイスをラックから引き出した状態にしない

複数台のデバイスをラックから引き出すとラックが倒れるおそれがあります。装置は 一度に 1 台ずつ引き出してください。



定格電源を超える配線をしない

やけどや火災、装置の損傷を防止するためにラックに電源を供給する電源分岐回路の 定格負荷を超えないようにしてください。電気設備の設置や配線に関しては、電源工 事を行った業者や管轄の電力会社にお問い合わせください。

電源・電源コードに関する注意事項

⚠ 警告





ぬれた手で電源プラグを持たない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電するおそれがあります。





アース線をガス管につながない

アース線は絶対にガス管につながないでください。ガス爆発の原因になります。

⚠ 注意



指定以外のコンセントに差し込まない

指定された電圧で指定のコンセントをお使いください。指定以外で使うと火災や漏電 の原因となります。

また、延長コードが必要となるような場所には設置しないでください。本装置の電源 仕様に合っていないコードに接続すると、コードが過熱して火災の原因となります。



たこ足配線にしない

コンセントに定格以上の電流が流れることによって、過熱して火災の原因となるおそ れがあります。



中途半端に差し込まない

電源プラグは根元までしっかりと差し込んでください。中途半端に差し込むと接触不 良のため発熱し、火災の原因となることがあります。また差し込み部にほこりがたま り、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれがあります。

指定以外の電源コードを使わない

本装置に添付されている電源コード以外のコードを使わないでください。電源コード に定格以上の電流が流れると、火災の原因となるおそれがあります。 また、電源コードの破損による感電や火災を防止するために次の注意をお守りくださ



- コード部分を引っ張らない。
- 電源コードを折り曲げない。
- 電源コードをねじらない。
- 電源コードを踏まない。
- 電源コードを束ねたまま使わ ない。
- 電源コードをステープラなど で固定しない
- 電源コードをはさまない。
- 電源コードに薬品類をかけない。
- 電源コードの上にものを載せない。
- 電源コードを改造・加工・修復しない。
- 損傷した電源コードを使わない。(損傷 した電源コードはすぐ同じ規格の電源 コードと取り替えてください。交換に 関しては、お買い求めの販売店または 保守サービス会社にご連絡ください。)

添付の電源コードを他の装置や用途に使用しない

添付の電源コードは本装置に接続し、使用することを目的として設計され、その安全 性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災 や感電の原因となるおそれがあります。

設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項

注意



1人で持ち上げない



本装置の質量は最大 20Kg (構成によっては異なる) あります。1人で運ぶと腰を痛めるおそれがあります。装置は2人以上で底面をしっかりと持って運んでください。また、フロントベゼルを持って、持ち上げないでください。フロントベゼルが外れて落下し、けがの原因となります。

指定以外の場所に設置・保管しない



本装置を次に示すような場所や本書で指定している場所以外に置かないでください。 火災の原因となるおそれがあります。

- ほこりの多い場所。
- 給湯器のそばなど湿気の多い場所。
- 直射日光が当たる場所。
- 不安定な場所。

腐食性ガスの発生する環境で使用しない



腐食性ガス(塩化ナトリウムや二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素、アンモニア、オゾンなど)の発生する場所に設置し、使用しないでください。また、ほこり中に腐食を促進する成分(硫黄など)や導電性の金属などが含まれている環境へも設置しないでください。装置内部のプリント板が腐食・ショートし、火災の原因となるおそれがあります。



カバーを外したまま取り付けない

本装置のカバー類を取り外した状態でラックに取り付けないでください。装置内部の 冷却効果を低下させ、誤動作の原因となるばかりでなく、ほこりが入って火災や感電 の原因となることがあります。



指を挟まない

ラックへの取り付け・取り外しの際にレールなどで指を挟んだり、切ったりしないよう十分注意してください。



ラックから引き出した状態にある装置に荷重をかけない

ラックから引き出された状態にある装置の上から重荷をかけないでください。フレームが曲がり、ラックへ搭載できなくなります。また、装置が落下し、けがをするおそれがあります。



プラグを差し込んだままインタフェースケーブルの取り付けや取り外しをしない



インタフェースケーブルの取り付け/取り外しは電源コードをコンセントから抜いて行ってください。たとえ電源を OFF にしても電源コードを接続したままケーブルやコネクタに触ると感電したり、ショートによる火災を起こしたりすることがあります。

/ 注意

指定以外のインタフェースケーブルを使用しない

インタフェースケーブルは、弊社が指定するものを使用し、接続する装置やコネクタを確認した上で接続してください。指定以外のケーブルを使用したり、接続先を誤ったりすると、ショートにより火災を起こすことがあります。

また、インタフェースケーブルの取り扱いや接続について次の注意をお守りください。



- 破損したケーブルコネクタを使用しない。
- ケーブルを踏まない。
- ケーブルの上にものを載せない。
- ケーブルの接続がゆるんだまま使用しない。
- 破損したケーブルを使用しない。

お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項

⚠ 警告





自分で分解・修理・改造はしない

本書に記載されている場合を除き、絶対に分解したり、修理・改造を行ったりしない でください。装置が正常に動作しなくなるばかりでなく、感電や火災の危険がありま



CD-ROM ドライブの内部をのぞかない

CD-ROM ドライブはレーザーを使用しています。 電源が ON になっているときに内 部をのぞいたり、鏡などを差し込んだりしないでください。万一、レーザー光が目に 入ると失明するおそれがあります(レーザー光は目に見えません)。

リチウムバッテリやニッカドバッテリ、ニッケル水素バッテリを取り外さない



本装置内部にはリチウムバッテリが取り付けられています(オプションデバイスの中 にはリチウムバッテリやニッケル水素バッテリを搭載したものもあります)。バッテ リを取り外さないでください。リチウムバッテリやニッケル水素バッテリは火を近づ けたり、水に浸けたりすると爆発するおそれがあります。

また、バッテリの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交 換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してくだ さい。









プラグを差し込んだまま取り扱わない

お手入れや本装置内蔵用オプションの取り付け/取り外し、装置内ケーブルの取り付 け/取り外しは、本装置の電源を OFF にして、電源プラグをコンセントから抜いて 行ってください。たとえ電源を OFF にしても、電源コードを接続したまま装置内の 部品に触ると感電するおそれがあります。

また、電源プラグはときどき抜いて、乾いた布でほこりやゴミをよくふき取ってくだ さい。ほこりがたまったままで、水滴などが付くと発熱し、火災の原因となるおそれ があります。

⚠ 注意



高温注意

本装置の電源を OFF にした直後は、内蔵型のハードディスクドライブなどをはじめ 装置内の部品が高温になっています。十分に冷めたことを確認してから取り付け/取 り外しを行ってください。



中途半端に取り付けない

電源ケーブルやインタフェースケーブル、ボードは確実に取り付けてください。中途 半端に取り付けると接触不良を起こし、発煙や発火の原因となるおそれがあります。

運用中の注意事項

企警告



ラックから引き出したり取り外したりしない

本装置をラックから引き出したり、ラックから取り外したりしないでください。装置が正しく動作しなくなるばかりでなく、ラックから外れてけがをするおそれがあります。



雷がなったら触らない

雷が発生しそうなときは電源プラグをコンセントから抜いてください。また電源プラグを抜く前に、雷が鳴りだしたら、ケーブル類も含めて装置には触れないでください。火災や感電の原因となります。



ペットを近づけない

本装置にペットなどの生き物を近づけないでください。排泄物や体毛が装置内部に 入って火災や感電の原因となります。



CD-ROM ドライブのトレーを引き出したまま放置しない

引き出したトレーの間からほこりが入り誤動作を起こすおそれがあります。また、トレーにぶつかりけがをするおそれがあります。



近くで携帯電話や PHS、ポケットベルを使わない

本装置のそばでは携帯電話や PHS、ポケットベルの電源を OFF にしておいてください。電波による誤動作の原因となります。



装置の上にものを載せない

本体がラックから外れて周辺の家財に損害を与えるおそれがあります。

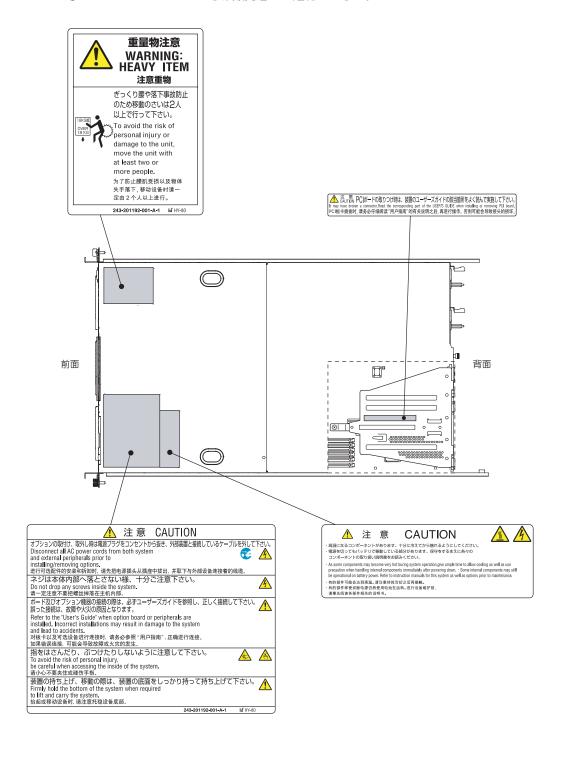


巻き込み注意

本装置の動作中は背面にある冷却ファンの部分に手や髪の毛を近づけないでください。手をはさまれたり、手をはさまれたり、髪の毛が巻き込まれたりしてけがをするおそれがあります。

警告ラベルについて

本体内の危険性を秘める部品やその周辺には警告ラベルが表示されています。これは本体を取り扱う際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです(ラベルをはがしたり、塗りつぶしたり、汚したりしないでください)。もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどしているときは販売店にご連絡ください。



取り扱い上のご注意

本装置を正しく動作させるために次に示す注意事項をお守りください。これらの注意を無視した取り扱いをすると本装置の誤動作や故障の原因となります。

- 本装置専用の保守用パーティションがOSから見える場合がありますが、この保守用パーティションを削除しないでください。
- 周辺機器へのケーブルの接続/取り外しは本体の電源をOFFになっていることを確認し、電源 コードをコンセントから外した後に行ってください。
- 電源のOFFやフロッピーディスクの取り出しは、本体のアクセスランプが消灯しているのを確認してから行ってください。
- 本体の電源コードをコンセントに接続した後、10秒間は本体の電源をONにしないでください。
- 本体の電源ON後POST(Power On Self-Test)終了までは電源をOFFにしないでください。
 - * POSTについては2章 ハードウェア編「基本的な操作」(106ページ)を参照してください。
- 本体の電源を一度OFFした後、再びONにするときは30秒以上経過してからにしてください。
- 本体を移動する前に電源をOFFにして、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 定期的に本体を清掃してください (清掃は257ページで説明しています)。定期的な清掃はさまざまな故障を未然に防ぐ効果があります。
- 落雷等が原因で瞬間的に電圧が低下することがあります。この対策として無停電電源装置等を 使用することをお勧めします。
- オプションは本体に取り付けられるものであること、また接続できるものであることを確認してください。たとえ本体に取り付けや接続ができても正常に動作しないばかりか、本体が故障することがあります。
- オプションは弊社の純正品をお使いになることをお勧めします。他社製のメモリやハードディスクドライブには本装置に対応したものもありますが、これらの製品が原因となって起きた故障や破損については保証期間中でも有償修理となります。



保守サービスについて

本装置の保守に関して専門的な知識を持つ保守員による定期的な診断・保守サービスを用意しています。

本装置をいつまでもよい状態でお使いになるためにも、保守サービス会社と定期保守サービスを契約されることをお勧めします。

健康を損なわないためのアドバイス・

コンピュータ機器を長時間連続して使用すると、身体の各部に異常が起こることがあります。コンピュータを使用するときは、主に次の点に注意して身体に負担がかからないよう心掛けましょう。

よい作業姿勢で

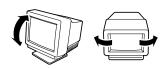
コンピュータを使用するときの基本的な姿勢は、背筋を伸ばして椅子にすわり、キーボードを両手と床がほぼ平行になるような高さに置き、視線が目の高さよりもやや下向きに画面に注がれているという姿勢です。『よい作業姿勢』とはこの基本的な姿勢をとったとき、身体のどの部分にも余分な力が入っていない、つまり緊張している筋肉がもっとも少ない姿勢のことです。

『悪い作業姿勢』、たとえば背中を丸めたかっこうやディスプレイ装置の画面に顔を近づけたままの状態で作業を行うと、疲労の原因や視力低下の原因となることがあります。



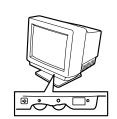
ディスプレイの角度を調節する

ディスプレイの多くは上下、左右の角度調節ができるようになっています。まぶしい光が画面に映り込むのを防いだり、表示内容を見やすくしたりするためにディスプレイの角度を調節することは、たいへん重要です。角度調節をせずに見づらい角度のまま作業を行うと『よい作業姿勢』を保てなくなりすぐに疲労してしまいます。ご使用の前にディスプレイを見やすいよう角度を調整してください。



画面の明るさ・コントラストを調節する

ディスプレイは明るさ(ブライトネス)・コントラストを調節できる機能を持っています。年令や個人差、まわりの明るさなどによって、画面の最適なブライトネス・コントラストは異なりますので、状況に応じて画面を見やすいように調節してください。画面が明るすぎたり、暗すぎたりすると目に悪影響をもたらします。



キーボードの角度を調節する

オプションのキーボードには、角度を変えることができるよう設計されているものもあります。入力しやすいようにキーボードの角度を変えることは、肩や腕、指への負担を軽減するのにたいへん有効です。



機器の清掃をする

機器をきれいに保つことは、美観の面からだけでなく、機能や安全上の観点からも大切です。特にディスプレイの画面は、ほこりなどで汚れると、表示内容が見にくくなりますので定期的に清掃する必要があります。

疲れたら休む

疲れを感じたら手を休め、軽い体操をするなど、気分転換をはかることをお勧めします。



はじめに

このたびは、NECのExpress5800シリーズ製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

Express5800/120GR-1bは、最新のマイクロプロセッサ「Intel® XeonTM Processor」を搭載した 高性能サーバです。

NECの最新テクノロジーとアーキテクチャにより従来のサーバでは実現できなかったハイパワー、ハイスピードが実現します。

「高信頼性」はもちろんのこと、「拡張性」を考慮して設計され、ネットワークサーバとして幅広くご 利用いただけることでしょう。

本製品の持つ機能を最大限に引き出すためにも、ご使用になる前に本書をよくお読みになり、製品の取り扱いを十分にご理解ください。

本書について

本書は、本製品を正しくセットアップし、使用できるようにするための手引きです。セットアップを 行うときや日常使用する上で、わからないことや具合の悪いことが起きたときは、取り扱い上の安全 性を含めてご利用ください。

本書は常に本体のそばに置いていつでも見られるようにしてください。

本書は、Windowsのオペレーティングシステムやキーボード、マウスといった一般的な入出力装置などの基本的な取り扱いについて十分な知識を持ったユーザーを対象として記載されています。

本文中の記号について

本書では巻頭で示した安全にかかわる注意記号の他に3種類の記号を使用しています。これらの記号と意味をご理解になり、装置を正しくお取り扱いください。

重要	装置の取り扱いや、ソフトウェアの操作で守らなければならない事柄や特に 注意をすべき点を示します。
チェック	装置やソフトウェアを操作する上で確認をしておく必要がある点を示しま す。
) -	知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

本書の構成について

本書は4つの編から構成されています。それぞれの編では次のような説明が記載されています。なお、 巻末には索引があります。必要に応じてご活用ください。

東の重要

「使用上のご注意」をはじめにご覧ください

本編をお読みになる前に必ず本書の巻頭に記載されている「使用上のご注意」 をお読みください。「使用上のご注意」では、本製品を安全に、正しくお使い になるために大切な注意事項が記載されています。

第1編 導入編

本装置を導入するにあたり知っておいていただきたい情報とお使いになられるまでのセット アップの手順について説明しています。ここで説明する内容や手順を守って正しく本装置をお使いになるシステム環境へ導入してください。

第2編 ハードウェア編

本装置のハードウェアに関する説明をしています。各部の名称やその機能、オプションの増設方法、本装置にふさわしい設置場所について知りたいときに参照してください。

第3編 ソフトウェア編

本体に添付のソフトウェアについてその機能や使用方法について説明しています。ここで説明する内容に従って正しくお使いください。

第4編 運用・保守編

本装置を運用する上で知っておいていただきたい情報が記載されています。また、「故障かな?」 と思ったときは、本装置の故障を疑う前に参照してください。

本書の購入について

製本された本装置の説明書が必要な場合は、最寄りの販売店またはお買い求めの販売店にご相談ください。ユーザーズガイドおよび添付のCD-ROMに収められているオンラインドキュメントの一部は、本装置のホームページからダウンロードすることができます。

http://nec8.com/

付属品の確認

梱包箱の中には、本体以外にいろいろな付属品が入っています。添付のスタートアップガイドを参照してすべてがそろっていることを確認し、それぞれ点検してください。万一足りないものや損傷しているものがある場合は、販売店に連絡してください。



付属品について

- 添付品はセットアップをするときやオプションの増設、装置が故障したときに必要となりますので大切に保管してください。
- 添付品の「EXPRESSBUILDER」は、紙封筒に包装されています。 パッケージの構成につきましては、紙封筒内にある 「EXPRESSBUILDER」の構成品表を参照してください。また、 EXPRESSBUILDER CD-ROMを紛失し、再購入を希望されるときは、 販売店へご相談ください。
- オペレーティングシステムに添付のソフトウェア登録カードは、所定事項をご記入の上、必ず投函してください。
- フロッピーディスクが添付されている場合は、フロッピーディスクの バックアップをとってください。また、添付のディスクをマスタディス クとして大切に保管し、バックアップディスクを使用してください。
- 添付のフロッピーディスク、またはCD-ROMは使用方法を誤るとお客様のシステム環境を変更してしまうおそれがあります。使用についてご不明な点がある場合は、無理な操作をせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社にお問い合わせください。

第三者への譲渡について

本体または、本体に添付されているものを第三者に譲渡(または売却)するときは、次の注意を守ってください。

● 本体について

第三者へ譲渡(または売却)する場合には、装置に添付されている説明書一式を一緒にお渡しく ださい。



ハードディスクドライブ内のデータについて

譲渡する装置内に搭載されているハードディスクドライブに保存されている 大切なデータ (例えば顧客情報や企業の経理情報など) が第三者へ漏洩することのないようにお客様の責任において確実に処分してください。

WindowsやLinuxなどのオペレーティングシステムの「ゴミ箱を空にする」操作やオペレーティングシステムの「フォーマット」コマンドでは見た目は消去されたように見えますが、実際のデータはハードディスクドライブに書き込まれたままの状態にあります。完全に消去されていないデータは、特殊なソフトウェアにより復元され、予期せぬ用途に転用されるおそれがあります。

このようなトラブルを回避するために市販の消去用ソフトウェア(有償)またはサービス(有償)を利用し、確実にデータを処分することを強くお勧めします。データの消去についての詳細は、お買い求めの販売店または保守サービス会社にお問い合わせください。

なお、データの処分をしないまま、譲渡(または売却)し、大切なデータが漏 洩された場合、その責任は負いかねます。

● 添付のソフトウェアについて

添付のソフトウェアを第三者に譲渡(売却)する場合には、以下の条件を満たす必要があります。

- 添付されているすべてのものを譲渡し、譲渡した側は一切の複製物を保持しないこと
- 各ソフトウェアに添付されている『ソフトウェアのご使用条件』の譲渡、移転に関する条件を満たすこと
- 譲渡、移転が認められていないソフトウェアについては、インストールした装置から削除 した後、譲渡すること

消耗品・装置の廃棄について

本体およびハードディスクドライブ、フロッピーディスク、CD-ROMやオプションのボードな どの廃棄については各自治体の廃棄ルールに従ってください。詳しくは、各自治体へお問い合 わせください。

重要

- 本体のマザーボード上にあるバッテリの廃棄(および交換)については お買い求めの販売店または保守サービス会社までお問い合わせくださ
- ハードディスクドライブやバックアップデータカートリッジ、フロッ ピーディスク、その他書き込み可能なメディア(CD-R/CD-RWなど) に保存されているデータは、第三者によって復元や再生、再利用されな いようお客様の責任において確実に処分してから廃棄してください。個 人のプライバシーや企業の機密情報を保護するために十分な配慮が必要 です。
- 本体の部品の中には、寿命により交換が必要なものがあります(冷却ファン、本体内蔵のバッ テリ、内蔵CD-ROMドライブ、フロッピーディスクドライブ、マウスなど)。装置を安定して 稼働させるために、これらの部品を定期的に交換することをお勧めします。交換や寿命につい ては、お買い求めの販売店、または保守サービス会社にご連絡ください。

▲ 警告

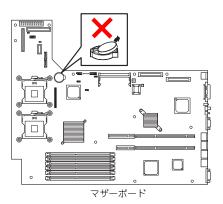
リチウムバッテリやニッカドバッテリ、ニッケル水素バッテリを取り外さない

本装置内部にはリチウムバッテリが取り付けられています(オプションデバイスの中 にはリチウムバッテリやニッカドバッテリ、ニッケル水素バッテリを搭載したものも あります)。バッテリを取り外さないでください。リチウムバッテリやニッカドバッ テリ、ニッケル水素バッテリは火に近づけたり、水に浸けたりすると爆発するおそれ があります。

また、バッテリの寿命で装置が正しく動作しなくなったときは、ご自分で分解・交 換・充電などをせずにお買い求めの販売店、または保守サービス会社に連絡してくだ さい。



その他、オプションボードに搭載されているバッテリの位置についてはオプション ボードに添付の説明書を参照してください。



目 次

♠ 使用上のご注意 (必ずお読みください)	ii
安全にかかわる表示について	ii
本書と警告ラベルで使用する記号とその内容	iv
安全上のご注意	
全般的な注意事項	V
ラックの設置・取扱いに関する注意事項	VI
電源・電源コードに関する注意事項	
設置・装置の移動・保管・接続に関する注意事項 お手入れ・内蔵機器の取り扱いに関する注意事項	
37年入れ・内蔵板品の取り扱いに関する注意事項 運用中の注意事項	
	
取り扱い上のご注意	
健康を損なわないためのアドバイス	XV
はじめに	XV
本書について	v.v.i
本文中の記号について	XVI
本書の構成について	
本書の購入について	
付属品の確認	
第三者への譲渡について	
消耗品·装置の廃棄について	
目 次	xxi
導入編	
特 長	
特 長サーバ管理	4
特 長 サーバ管理 ストレージ管理	4 5
特 長 サーバ管理 ストレージ管理 電源管理	4 5 8
特 長	4 5 8
特 長	4
特 長	
特 長	
特 長	
特 長	
特 長	
特 長	
特 長	
特 長	
特 長	
特 長	
特 長	
特 長	

カスタムインストールモデルのセットアップ	17
セットアップをはじめる前に (購入時の状態について)	
セットアップの手順	
シームレスセットアップ	
OSのインストールについて	
セットアップの流れ	
セットアップの手順	25
オプションのネットワークボードのドライバ	
アダプタフォルトトレランス(AFT)/アダプティブロードバ	
(ALB)のセットアップ	
SCSIコントローラのドライバ	
グラフィックスアクセラレータドライバ	
障害処理のためのセットアップ	36
管理ユーティリティのインストール	
システムのアップデート	42
システム情報のバックアップ	
応用セットアップ	44
シームレスセットアップ未対応の	
大容量記憶装置コントローラを利用する場合	
マニュアルセットアップ	
論理ドライブが複数存在する場合の再セットアップ手順	46
Windows 2000のセットアップ	18
カスタムインストールモデルのセットアップ	
カスメム・レストール ピケルのピット グラ セットアップをはじめる前に (購入時の状態について)	48
セットアップの手順	
シームレスセットアップ	
OSのインストールについて	51
セットアップの流れ	
セットアップの手順	
USB 2.0ドライバ	
オプションのネットワークボードのドライバ	
アダプタフォルトトレランス(AFT)/	
アダプティブロードバランシング(ALB)のセットアップ	65
SCSIコントローラのドライバ	66
障害処理のためのセットアップ	67
管理ユーティリティのインストール	
システムのアップデート (サービスパックの適用)	
システム情報のバックアップ	73
応用セットアップ	74
シームレスセットアップ未対応の	
大容量記憶装置コントローラを利用する場合	74
マニュアルセットアップ	75
論理ドライブが複数存在する場合の再セットアップ手順	76
. TAA	
HostRAID TM について	78
HostRAIDの概要	
仕様	
特長	
注意事項	
HostRAIDセットアップの流れ	80
19-1	
ハードウェア編	
A Adding	
各部の名称と機能	82
装置前面	82
装置前面(フロントベゼルを取り外した状態)	83

	装置背面			84
	装置外観			85
		- F [*]		
	ランプ表示			88
		POWERランプ		
		STATUSランプ		
		DISK ACCESSランプ		
		ACTランプ		
		UIDランプ (UID)		
		ディスクアクセスランプ ハードディスクドライブのランプ	•••••	90
		LANコネクタのランプ		
		LANコイクタのフラフ	•••••	91
設置と接続	Ē			93
		ラックの設置		
		ラックへの取り付け/ラックからの取り外し		
	接 続		1	03
		無停電電源装置(UPS)への接続について	1	05
# * hh * \ + \	3. <i>II</i> ⊏		1	೧೯
基本的は扱	ディー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	 ビゼルの取り付け・取り外し	1 1	00
		(とかの取り付け、取り外し		
		ェック		
	1 031077	T POSTの流れ		
		POSTのエラーメッセージ		
		ビープ音によるエラー通知		
	雷酒のOFF			
		:認(UIDスイッチ)		
	フロッピー	-ディスクドライブ	1	12
	, _ , _	フロッピーディスクのセット/取り出し		
		フロッピーディスクの取り扱いについて	1	12
	CD-ROM F	・ライブ		
		CD-ROMのセット/取り出し		
		取り出せなくなったときの方法		
		CD-ROMの取り扱いについて		
内蔵オブシ		付け		
		·意		
		について		
		取り外しの準備		
	取り刊り/1	取り外しの手順		
		ハードディスクドライブ		
		電源ユニット本装置 (ラックからの引き出し)		
		本表員 (フックからのSTOID) ドライブカバー		
		ロジックカバー		
		DIMM		
		プロセッサ (CPU)		
		PCIボード		
		ディスクアレイコントローラボード	1	19
		冗長ファンの取り付け	۱ 1	55
		リモートマネージメントカード/	1	
		アドバンスドリモートマネージメントカード(RMC)	1	58
BIOSのセ				
	システムB	IOS (SETUP)	1	63
		起 動		
		キーと画面の説明	1	65

	設定例	166
	パラメータと説明	
	SCSI BIOS (SCSISelect)	
	SCSISelectユーティリティの用途	
	起動と終了	188
	Configure/View Host Adapter Settings	
	SCSI Disk Utilities HostRAID	
	ディスクアレイBIOS(ディスクアレイBIOSユーティリティ)	
) 1 X)) D 1 D OO () 1 X)) D 1 D OO = () 1 Y) 1 /	100
	リセットとクリア	
	リセット	
	強制電源OFF	
	CMOSメモリ・パスワードのクリア	19'7
	割り込みライン	199
	RAIDコンフィグレーション	200
	ソフトウェフ婦	
J	ソフトウェア編	
	添付のCD-ROMについて	202
	<u> </u>	202
	EXPRESSBUILDER	203
	起動メニューについて	203
	EXPRESSBUILDERトップメニュー	
	起動方法	206
	シームレスセットアップ	
	ツールメニュー	
	コンソールレスメニュー	
	起動方法	
	メインメニュー マスターコントロールメニュー	
	ExpressPicnic	215
	セットアップパラメータFDの作成	
	追加アプリケーションのインストール	
	大容量記憶装置ドライバのインストール	
	稼動機からの情報採取	
	大量インストール	223
	本体用バンドルソフトウェア	225
	ESMPRO/ServerAgent (Windows版)	
	インストール前の準備	225
	インストール	
	インストール後の確認	227
	リモートマネージメントカード/	
	アドバンスドリモートマネージメントカードの着脱について	
	Power Console Plus(サーバ)カスタムインストールモデルでのセットアップ	228
	カスタムインストールセナル (*の)セットアッノ	228
	シームレスセットアップを使ったセットアップ 手動インストール(新規インストール)	
	ナ <u>リ</u> コノストール(和	220 220
	Adaptec Storage Manager TM - Browser Edition	
	カスタムインストールモデルでのセットアップ	
	シームレスセットアップを使ったセットアップ 手動インストール(新規インストール)	
	チ動1ノストール(利成1ノストール) エクスプレス通報サービス	
	カスタムインストールモデルでのセットアップ	

テー	手動インストール (新規インストール)	232
,	プ監視ツール	
	カスタムインストールモデルでのセットアップ	23/
	手動インストール (新規インストール)	
ГС/		
ESIV	1PRO/UPSController Ver.2.1	
	インストール済みのESMPRO/UPSControllerのセットアップ	
	新規インストール	
Pow	erChute plus Ver.5.11J/5.2J	241
	カスタムインストールモデルでのセットアップ	
	新規インストール	243
BM0	C Online Update	244
	動作環境	
	インストール	
	起動方法	
	アンインストール	
	エラー表示一覧	250
答理PC田バント	・ルソフトウェア	251
	MPRO/ServerManager	
Diar	naScope	
_	注意事項	
Pow	/er Console Plus (管理PC)	
	Power Console Plus(管理PC)をインストールする前に	
	Power Console Plus (管理PC) のインストール手順	253
	Power Console Plus(管理PC)の環境設定	253
日常の保守		256
アラ	ートの確認	256
アラ		256
アラ ステ	ートの確認ータスランプの確認ータスランプの確認	256 256
アラ ステ バッ	ートの確認 ータスランプの確認 クアップ	256 256 257
アラ ステ バッ	ートの確認 ータスランプの確認 クアップ ーニング	256 256 257
アラ ステ バッ	ートの確認	256 256 257 257
アラ ステ バッ	ートの確認	256 257 257 257
アラ ステ バッ	ートの確認	256 257 257 257 258 259
アラ ステ バッ	ートの確認	256 257 257 257 258 259
アラ ステ バッ	ートの確認	256 257 257 257 258 259
アラ ステ クリ システム診断	ートの確認	
アラ ステ クリ システム診断 シス	ートの確認	
アラ ステ クリ システム診断 シス	ートの確認	
アラテ アスパッリ システム診断 シス 管害時の対処 障害時の対処	ートの確認	
アラテ アスパッリ システム診断 シス 管害時の対処 障害時の対処	ートの確認	
アスデッリ システム診断ス シュス 障害時の対処 障害	ートの確認ータスランプの確認 。	
アスバッリ システム診断 システム診りシシシ 障害時の対処 障エラ	ートの確認ータスランプの確認クアップ	
アスバッリ システム診断 システム診りシシシ 障害時の対処 障エラ	ートの確認ータスランプの確認クアップ	
アスバッリ システム診断 システム診りシシシ 障害時の対処 障エラ	ートの確認 ータスランプの確認 クアップ 本体のクリーニング 本体のクリーニング キーボード/マウスのクリーニング アープドライブのクリーニング テープドライブのクリーニング アム診断の内容 テム診断の起動と終了 ドラング アンジ アのST中のエラーメッセージ アンドラーメッセージ サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ オーバで フルシューティング 本体について 本体について 本体について	
アスバッリ システム診断 システム診りシシシ 障害時の対処 障エラ	ートの確認 ータスランプの確認 クアップ 本体のクリーニング 本体のクリーニング キーボード/マウスのクリーニング アープドライブのクリーニング テープドライブのクリーニング テム診断の内容 テム診断の起動と終了 POST中のエラーメッセージ POST中のエラーメッセージ サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ がいシューティング 本体について Windows Server 2003/Windows 2000について Windows Server 2003/Windows 2000について	
アスバッリ システム診断 システム診りシシシ 障害時の対処 障エラ	ートの確認	
アスバッリ システム診断 システム診りシシシ 障害時の対処 障エラ	ートの確認 … ータスランプの確認 … クアップ … 本体のクリーニング … 本体のクリーニング … キーボード/マウスのクリーニング … アープドライブのクリーニング … テープドライブのクリーニング … テープドライブのクリーニング … テム診断の内容 … テム診断の起動と終了 … ※ POST中のエラーメッセージ … POST中のエラーメッセージ … サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ ブルシューティング … 本体について … Windows Server 2003/Windows 2000について … シームレスセットアップについて … シームレスセットアップについて … シームレスセットアップについて シームレスセットアップについて シームレスセットアップについて	
アスバッリ システム診断 システム診りシシシ 障害時の対処 障エラ	ートの確認 …	
アスバッリ システム診断 システム診断シシ ・ション 障害時の対処 障エラ	ートの確認 … ータスランプの確認 … クアップ … 本体のクリーニング … 本体のクリーニング … キーボード/マウスのクリーニング … アープドライブのクリーニング … テープドライブのクリーニング … テープドライブのクリーニング … テム診断の内容 … テム診断の起動と終了 … ※ POST中のエラーメッセージ … POST中のエラーメッセージ … サーバ管理アプリケーションからのエラーメッセージ ブルシューティング … 本体について … Windows Server 2003/Windows 2000について … シームレスセットアップについて … シームレスセットアップについて … シームレスセットアップについて シームレスセットアップについて シームレスセットアップについて	
アスバッリ システム診断 システム診断シシ ・ション 障害時の対処 障エラ	ートの確認 …	
アスバッリ システム診断 システム診断シシ ・ション 障害時の対処 障エラ	ートの確認	

ディスクアレイについて 障害情報の採取	
イベントログの採取	
構成情報の採取	
ワトソン博士の診断情報の採取	288
メモリダンプの採取	
システムの修復	289
修復手順 (Windows Server 2003)	
修復手順(Windows 2000)	289
オフライン保守ユーティリティ	292
オフライン保守ユーティリティの起動方法	
オフライン保守ユーティリティの機能機能	
移動と保管	294
ユーザーサポート	296
保証について	
修理に出される前に	
· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	
補修用部品について	
保守サービスについて	298
情報サービスについて	
付録A 仕 様	301
付録B 保守サービス会社網一覧	303
索 引	307

―― オンラインドキュメントについて ―――

添付のEXPRESSBUILDER CD-ROMには次のオンラインドキュメントが収められています。必要に応じて参照してください。

- ユーザーズガイド
- Microsoft Windows Server 2003 Standard Edition/Microsoft Windows Server 2003 Enterprise Editionインストレーションサプリメントガイド*
- Microsoft Windows 2000 Server/Microsoft Windows 2000 Advanced Serverインストレーションサプリメントガイド*
- ESMPRO/ServerAgent (Windows版) インストレーションガイド
- ESMPRO/ServerManagerインストレーションガイド
- エクスプレス通報サービスインストレーションガイド
- Power Console Plusユーザーズガイド
- Adaptec Storage ManagerTM Browser Editionユーザーズマニュアル
- HostRAIDTM SCSI*Select* Utility操作説明書
- テープ監視ツールセットアップガイド
- Express Server Management Guide
- DianaScopeオンラインドキュメント
- 19インチラックユーザーズガイド
- * 本装置専用の保守用パーティションを作成せずにOSをインストールしたいときなど、 特殊な場合にのみ参照してください。通常は「EXPRESSBUILDER」の「シームレス セットアップ」ツールを使ったインストールをお勧めします。